

第3回松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成21年7月2日（木）

13時30分～14時20分

2 場所

四賀支所 大会議室

3 出席者

松本市四賀支所長 百瀬会長、四賀地域審議会 佐藤副会長、松本市政策部長 中澤委員（代理寺沢）、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山）、松本電鉄 惣洞委員（代理鈴木）、タクシー協議会 伊藤委員、松本市社会福祉協議会 山岸委員、松本市市民環境部長 江平委員（代理牧垣）、四賀地区町会連合会 望月委員、四賀地区町会連合会 塩原委員、四賀地区町会連合会 平松委員、民生児童委員協議会 青木委員、民生児童委員協議会 竹内委員（代理溝口）、会田中学校 古川委員、高齢者クラブ 藤原委員、行政相談員 草田委員、松本警察署 西澤委員（代理小原）、長野運輸支局 千村委員、松本地方事務所 竹淵委員（代理竹村）

欠席 長野国道出張所 近藤委員、松本建設事務所 米山委員、民生児童委員協議会 木下委員、民生児童委員協議会 岩淵委員、会田中学校 召田委員、長野県交通政策課 三村委員

4 会議事項

(1) 第3回協議会の開催結果について（原案どおり承認）

(2) アンケート調査の実施について（原案どおり承認）

(3) 今後の日程について（原案どおり承認）

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
アンケートの内容について	<p>○高齢者は地図にある小さい字から番号を正確に拾うのは困難。集計上はどの程度の誤差が認められるのか。</p> <p>⇒ 今回はどこに住んでいる（出発点）かということ把握するのが目的なので、多少番号がずれていても問題ない。</p> <p>○回答で住所の番地を書くようになっている。個人データやプライバシーの問題があるが、どうして必要なのか。</p> <p>⇒ 地図番号を間違えたり書かない人もいる。町会名のみでは広範囲となるので、なるべく正確に起点を把握するため番地まで書くようにした。個人情報に関しては、個人の名前を集めない。集計に番地を割り出して分析することはない。</p> <p>○地域的には、明科側と松本市街地へ直接出るものと方向がはっきりしている。通勤まで含み込んだかたちがあったほうが良い。</p> <p>⇒ 通勤する生産年齢人口の世代のデータも取り、分析の対象とする。通</p>

	勤の方を全く考慮しないというアンケート設計ではない。
アンケート配布・回収について	<p>○回収方法は、封筒に入れて回収するのか、裸のままで回収するのか。</p> <p>⇒ 封筒に入れて各家庭に配布するので、配布時の封筒を使って回収したい。</p> <p>○アンケートがどのくらい回収されるか心配。「良く分からない」と言う高齢者の意見が大事だと思うので、ただ置いてくるだけでよいのか。</p> <p>⇒ 四賀は年寄りの世帯が多い。町会長会議で各町会長にお願いして出来るだけ回収したい。</p> <p>○松本西部地域のアンケートでは回収率が非常に悪かった。高齢者には聞き取りのほうが確実な動向調査が出来るのではないかと思う。</p> <p>⇒ 町会長の協力を経て、町会配布、町会回収という形を考えている。過去の経験ではこのような方法だと60%~70%の回収が見込める形になっている。高齢者の移動等、ヒヤリングで把握したいと考えている。</p>
その他	<p>○世界的な規模でエコ的な対応が求められる中で、公共交通の新たなプラス要素として考えてはどうか。</p> <p>⇒ 自家用車から公共交通に乗り継いでもらう、家族送迎を減らし車の使用自体を減らしてもらい最初の動機付けとして、エコという切り口で今後、利用促進を進めていきたい。</p>